

(別紙4-1)(ユニット2)

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0173100363		
法人名	シルバーハウス株式会社		
事業所名	グループホーム びえいの郷		
所在地	上川郡美瑛町大町2丁目5番14号		
自己評価作成日	令和3年3月1日	評価結果市町村受理日	令和3年4月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&ligvosyoCd=0173100363-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	合同会社 mocal
所在地	札幌市中央区北5条西23丁目1-10-501
訪問調査日	令和3年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

びえいの郷の理念は介護の理念のみならず、職員に対しての理念でもあり、入居者、職員の区別無く「あるがままに一人ひとりの個性を尊重し…共に暮らし、そして支えあう」ことを念頭に置き日々努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)		1 ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と
		○	2 利用者の2/3くらいが				2 家族の2/3くらいと
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどつかんでいない				4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)		1 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある				2 数日に1回程度
			3 たまにある				3 たまに
			4 ほとんどない			○	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1 ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1 大いに増えている
			2 利用者の2/3くらいが				2 少しずつ増えている
			3 利用者の1/3くらいが			○	3 あまり増えていない
			4 ほとんどいない				4 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)		1 ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が
		○	2 利用者の2/3くらいが				2 職員の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1 ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが				2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが				3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)		1 ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 利用者の2/3くらいが			○	2 家族等の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		1 ほぼ全ての利用者が				
		○	2 利用者の2/3くらいが				
			3 利用者の1/3くらいが				
			4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、事務所や休憩室等目のつく場所に提示したり、名札の裏に入れて常に意識付けをし職員全体で実践に繋げている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域イベントや、お祭りの参加、幼稚園児の訪問も毎年受け入れている。事業所のお祭りも地域の方や余興のボランティアを招き交流の機会を作っているが、今年はコロナ禍で開催がなかった。		
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域ケア会議や運営推進会議で情報交換の機会があるがコロナ禍で中止になっている。		
4		○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、サービスの状況の報告や意見交換を行っていたが、コロナ禍で開催出来なかった。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	月1度の役場主催の地域ケア会議はコロナ禍で中止になったが、各事業所同士と協力関係があり、スムーズなサービスの調整が出来ている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについては、職場内研修を行い話し合い、確認し実践している。玄関の施錠は、安全防犯の為にあり拘束の意味合いではない。外出希望の方には速やかに施錠を解除している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	職場内研修で虐待防止についての研修を行い、職員一人ひとりが自己評価を行う機会を作り話し合い、職員間でも声掛けを行える関係性を築けるように働きかけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職場内で権利擁護や成年後見人制度に関する研修の機会を作り、制度の理解が出来るよう努めている。活用されてい利用者様もあり、関係機関と連携を図り対応している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談時は十分な説明を行い、納得されるまで話し合っている。少しでも不安がある場合は、体験入居も勧める等柔軟な対応を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の方は日常の会話で確認し意見や要望の把握に努めています。ご家族には、アンケート調査を行い意向を聞き取り、運営に反映しています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の業務改善会議を開催し、職員から意見や要望を提案できる機会を作っています。意見や要望は代表者に報告し、柔軟に対応し反映に心掛けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員の意見や要望にを確認し、実績や努力を代表者に報告している。また働きやすい環境整備や労働条件の改善に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の計画を立て職場内研修を行った。資格習得のために、講習の案内や費用の一部補助を行う等の支援も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	併設している事業所とは日常的な交流はあるが、町役場主催の講演会や講習会はコロナ禍で開催はなかった。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時には、ご本人の願いや要望・生活習慣やこだわりを出来る限り尊重し、不安なく安心して暮らせるよう務めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを開始前に、ご家族の要望や不安を確認し、幅広く選択肢を提案する事で、柔軟な対応が出来るよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを開始する段階で幅広い選択肢を提案しご家族と話し合い、他に適したサービスがある場合は連絡し調整する等の支援をしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	理念にも掲げている「共に暮らし、支え合い」・「家庭的な雰囲気のもとで」を心掛け、暮らしを共にするもの同士、お互いに協力できる関係性を築けるように努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ご家族にお便りで生活や健康状態等の様子を伝え、ご家族の状況も考慮し共に支え合えるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在、コロナ禍で面会は出来ていませんが、ご家族や知り合いからの電話の取り次ぎは継続して行っています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等の活動を多く取り入れ、職員も参加して、利用者同士が円滑な関係を維持できるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期の入院で契約が終了しても、必要に応じて入院中の洗濯やおむつの補充等を行う等、ご家族の負担や不安が軽減出来るように努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時にご本人やご家族から生活に対する希望等を伺い、状況に応じた柔軟な対応が出来るよう努めています。日常の関わりで、表情や行動からも思いを察して、寄り添ったサービスが出来るよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人から、これまでの生活習慣や利用しているサービスを聞き取り、ご本人が望んでいる生活ができるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり1日の過ごし方や心身の状態が違うので、生活のリズムや興味のあることを把握し、無理なく発揮できるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の願いや、生活の意向を確認して支援するサービスを計画しております。より良いサービスにするために、職員の意見も聞き入れてアイデアに反映させています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は介護記録に記入し、小さな変化は個別の気づきノートに記入し情報を共有しました。職員間では連絡帳や引継ぎで確認して話し合い、ケアの見直しに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況や要望を個別に確認し、協力できるように柔軟な対応を心掛けている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣のお店に食事に行ったり、買い物に出かけたり温泉施設も活用していたが、コロナ禍で外出を自粛しており、出前やテイクアウトを活用した。入浴時には入浴剤を使用し温泉気分を味わってもらった。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近隣の協力病院への定期受診が主になるが、本人やご家族の要望に応え、専門の病院や、慣れ親しんだ病院を継続して受診する等地域を広め対応している。オンラインでの診療も活用する事が出来て、医療機関と連携が摂れていた。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所に看護職員を配置しており、利用者と介護職員の心身の状況の把握や確認をしている。かかりつけの医療機関と連携が取れており適切な受診ができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、管理者が同行し、ご家族と連携し本人の情報を提供し、治療方針の確認している。入院中は、洗濯物やオムツ等の補充を行い、ご家族の負担の軽減に努めている。退院時同行し、情報を得て、退院後の適切な対応ができるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	入居時に事業所が対応できる支援の説明をしている。入退院が繰り返され症状が重度化した場合は、主治医やご家族と話し合い、ご本人が望まれる対応ができるよう努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	隣接する施設には、AEDを設置し急変時に備えている。職場内研修で、急変時の対応に関する研修を行い、対応できるよう努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中と夜間時に避難訓練を行っている。非常災害時に備えた水や食料等の物品を備蓄し定期的に入れ替わを行っている。災害時の対応マニュアルを作成し、避難経路等も全体会議で話し合っている。		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの個性を尊重することを理念に掲げ、職場内研修等で職員全体で確認し、常に意識し実践に繋げています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、自己決定ができるように2者択一にしたり、アドバイスをする等、本人が自分の思いを言えるような雰囲気作りに力を入れています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	本人のペースや生活のリズムに合わせ、食事の時間をずらす等の柔軟な対応を心がけている。希望があれば、一緒に散歩に出掛けたり、ドライブに行く等、希望に沿った対応を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	偶数月に理美容の日があり、事前に希望を聞き、毛染めやパーマ、カット、髭剃り等、その人らしいおしゃれを楽しめるよう支援している。ひな祭りに、女性の利用者は、お化粧し爪にネイルをして着物を着ておしゃれを楽しみました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	コロナ禍で外食を控えているため、出前等を取り入れた。昼食にジンギスカンやラーメン等を食べたり、おやつ、ホットケーキやたこ焼きを職員と一緒に作り、楽しむ機会を多く取り入れた。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の状態に応じ、副食を大きさを変えて刻んだりペースト状にするなど個々に合わせて提供している。栄養補助食品も使用し、栄養を確保できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの口腔内の状態に合わせた用具を準備し、毎食後の口腔ケアを支援している。必要に応じて専門の病院に受診して詳しく見てもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、表情や行動からトイレ誘導を行い、トイレでの排泄の支援に繋がっております。夜間は安眠出来るように、パット等を吸収力の高い物に替えたり、ポータブルトイレを使用してもらう配慮をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のチェック表にて排泄状態を把握し、便秘予防の為にテレビ体操やごっくん体操・レクリエーションでは身体を動かすゲーム等を多く取り入れております。飲み物の種類を増やし、個々の好みに応じたものを提供出来るよう取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	入浴は基本週2回としていますが、ご本人様の希望や体調に合わせた支援を心がけ、入浴剤を使用しゆっくりくつろいでもらえるように工夫しております。年2～3回温泉に出かけていたましたが、コロナ禍で自粛しました。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や状況に応じて声掛けを行い、休息を勧める等の対応をしております。湿度や温度・換気にも気を配り、気持ちよく過ごせるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用しているお薬説明書は、個人ファイルに入れ、職員がすぐに確認出来るようにしてあります。薬の変更があった場合は、受診記録簿に記載し、職員全体で周知しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの得意な事を生かし、趣味活動や役割等に繋げ、日々の生活に張り合いや楽しみが持てるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎年、花見やお祭り、外食、温泉等沢山の外出支援を行って来ましたが、コロナ禍で自粛が続いています。少人数でドライブや散歩などを楽しみました。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持金は通常事務所で預かりしており、毎月のお便りと一緒に金銭出納帳をお送りして報告しております。ご本人の希望でご家族様も了承の上で、少額のお金を所持されている方もおり、買い物の代行もしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望で、ご家族等に電話を掛けたり電話の取り次ぎは自由に出来ております。お手紙は希望があれば代読しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間のリビングや廊下には、行事毎の写真や季節の飾りを毎月変え生活感等を感じてもらえるように工夫しております。利用者で作成した工作や絵も飾り季節感も出ております。定期的に湿度と温度を測定し、居心地よく過ごして頂けるように支援しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関先に椅子を配置し、一人になれ場所を確保しています。事務所から見守りが出来る配置になっており安全も確保出来ています。家具等の配置を定期的に職員で話し合い、落ち着いた環境を提供できるように努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具はご家族やご本人と話し合い、使い慣れた物を持ってきてもらう等し、混乱なく居心地良く過ごせるように配慮している。居室はご本人様の状態に合わせた家具の配置を行っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有のフロアは全体が見渡せるようになっており、自立した活動がしやすいように、居室やトイレ等は解りやすいように表記し、危険な所がないか定期的に会議等で話し合い見直しをしている。		